

プロジェクト管理及び価格算定に係る次期システム検討委員会（第1回）

議事要旨

- 1 日時： 令和3年6月24日（木） 13:05～14:10
- 2 場所： 防衛省市ヶ谷庁舎D棟3階 庁会議室
- 3 出席： （委員長）調達管理部長
（委員）事業計画官、調達企画課長、原価管理官、需品調達官
（部会長、副部会長）事業計画官付 企画室長、原価管理官付 原価管理制度総括官、事業計画官付 コスト管理室長
- 4 議題：（1）これまでの検討の状況について
（ア）検討体制の変更について
（イ）各検討部会における検討状況について
① プロジェクト管理システム検討部会の検討状況について
② コストデータ活用検討部会の検討状況について
（ウ）令和4年度概算要求の状況について
（2）次回の委員会について

5 議事概要

（1）これまでの検討の状況

（ア）検討体制の変更について

本委員会の下に「プロジェクト管理システム検討部会」（部会長：事業計画官付企画室長）及び「コストデータバンク検討部会」（部会長：原価管理官付原価管理制度総括官）を置き、それぞれ部会における検討事項を明確化し、検討を深化させていくことなどについて説明。

（イ）各検討部会における検討状況について

① プロジェクト管理システム検討部会の検討状況について

- プロジェクト管理システムで使用可能な COTS ソフトウェアには複数の候補があるが、最終的には現在契約履行中のプロジェクト管理システムに係る要件定義役務の中で必要な機能・性能等を決定予定。
- プロジェクト管理システムについては、セキュリティを確保しつつ、システムを利用する企業と防衛省の担当者との間の情報が負荷なく共有されるよう検討が必要。
- 様々な課題はあるものの、最終的にデータ等が収集・整理され、所望のデータが検索できるなど担当者の使い勝手が優れたシステムを導入すべき。

② コストデータ活用検討部会の検討状況について

- コストデータバンク（CDB）は、担当者の使い勝手が良く、自動的にデータが蓄積されるような形を目指すべき。
- CDBのデータの蓄積に際し、企業の協力が必要であるため、データを提供する企業側のメリットを検討すべき。

○ 装備品等の見積りは各社各様であり、その対応について議論が必要。

(ウ) 令和4年度概算要求の状況について

契約履行中のプロジェクト管理システムに係る要件定義役務の進捗を踏まえ、同システムに係る概算要求の最新の状況を次回委員会で説明予定。

(2) 次回の委員会について

次回委員会はプロジェクト管理システムに係る要件定義役務の進捗を踏まえ、7月中に開催。

(以上)